

SNS公式アカウントを開設しました

より多くの先生方や教育関係者のみなさまに役立つ情報をお届けするため、
光村図書は2021年より、LINEとTwitterによる情報発信を開始いたします。



明日からの授業づくりに役立つ情報・資料を、いち早くお届けします。友だち登録の際に教科を選択していただき、その教科の情報のみを受け取ることができます。

【友だち追加方法】

●QRコードから追加

LINEアプリを起動→ホーム→友だち追加

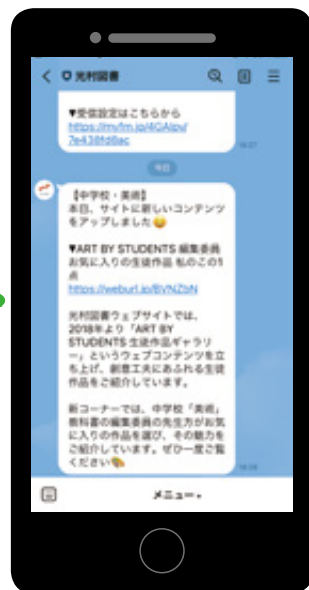


●アカウント名を検索して追加

LINEアプリを起動→ホーム

光村図書

※「QRコード」は、株式会社デンソーウェブの登録商標です。



光村図書の懐かしの教材や、旬の教材、教科書にちなんだ豆知識やクイズなど、ちょっと「ほっ」とする情報を随時お届けします。

【フォロー方法】

●QRコードから追加

QRコードを読み取る



●アカウント名を検索して追加

Twitterアプリを起動

光村図書



動画で理解を深めるYouTubeも、引き続き運営しております。



令和3年度使用 平成28年度版『美術2・3』評価計画資料

令和3年度の中学校第3学年では、令和2年度に2年次で配本された平成28年度版『美術2・3』の教科書を使用します。新しい学習指導要領にもとづいて指導するためには、目標や評価規準を新学習指導要領に対応させる必要があります。小社ウェブサイト上に新学習指導要領に対応させた「題材内容一覧、観点別評価規準例」をアップしておりますので、第3学年の年間指導計画作成の際にはご参照ください。

資料はこちらから



www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c_bijutsu/keikaku/#28

美術準備室 No.18

2021(令和3年)年4月1日

発行人 ■ 吉田直樹
発行所 ■ 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話: 03-3493-2111
www.mitsumura-tosho.co.jp
E-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp
デザイン ■ Better Days(大久保裕文+深山貴世)
印刷所 ■ 梅田印刷株式会社



2021

美術準備室

つくる・みる・感じとる

第18号

光村図書

内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

特集1

中学校 新版教科書Q&A

特集2

令和4年度版高等学校 『美術1』のご案内

アトリエ訪問
画家

遠藤彰子

作家の肖像
彫刻家
若林 奮

この1点

「鳥獣人物戯画」しりあがり寿

正面に置かれているのは、「海暮れゆけばただ灰^ほかなる」という
1000号サイズ(333.3×497.0cm)の巨大な作品だ。



ア ト リ エ 訪 問

第 18 回

遠藤彰子

画家

巨大なキャンヴァスに描かれる、壮大な物語。
幻想的な画面を見上げていると、豊穡な精神世界に吸い込まれそうになる。
画家・遠藤彰子。そのあふれる想像力とエネルギーの源は、どこにあるのだろう。
閑静な住宅街に佇む、彼女のアトリエを訪ねた。

撮影 永野雅子

相模原の住宅街を歩いていくと、街角に独特な存在感を放つ2階建てが現れた。白亜の外壁はびっしりと^{つた}蔦に覆われ、ところどころに仏像が^{ちんぞ}鎮座している。まるで異世界への入り口のような扉を開けると、笑顔の遠藤さんが招き入れてくれた。

——素敵なアトリエですね。いつからここで制作されているのですか。
遠藤 昔から相模原にアトリエを構えてはいましたが、このアトリエに建て替えたのは20年前くらいだったかな。床が半地下になっていて、天井まで約7メートルあります。高さがあるのが気に入っていますね。大きい絵を描くには、大きい空間が必要ですから。

——大きな絵を描くようになったのは、いつごろからですか。

遠藤 幼い頃から絵を描くのが好きで、頭で考えた物語を道路にチョークで描いて表現していましたね。もしかすると「大きな絵を描く」ということの原点は、この頃にあるのかもしれませんが。

大人になってからは、20代半ばで200号(259×194cm)を描き始めました。30代後半で改めて自分の絵と向き合ってみて、「もっと大きい絵だったら違う空間が描けるかも」と思い、41歳から、500号(333.3×248.5cm)以上を描くようになりました。

これだけ作品が大きいと、描くう



愛用する筆は油絵用ではなく、習字用の細い筆。大きなキャンヴァスの9割をこの筆で描くという。

ちに最初のイメージから変わっていくこともよくあります。大きな構成は変わりませんが、細部はよく変わります。というか、変わらないとおもしろくない。描いた形からヒントが浮かんできて、イメージがどんどん連鎖していく。そうなるともう、楽しくてしかたない。

私の場合、キャンバスに木炭で下書きしてから、最初は白と黒の油彩で調子の幅をつけていきます。その後、細部の色を重ねていくのですが、この段階で当初のイメージから変わっていくことが多いですね。

——光村図書の高等学校教科書『美術2』(P.55)には、遠藤さんが初めて描いた500号の作品「みつめる空」を掲載しています。

遠藤 自分にとっての転機となった作品ですね。この絵を描いてから、どんどん自由になっていった気がします。「空が上で、地面が下でないといけない」というような、常識的な考えから解放されたというか。

現実ではあり得なくても、絵の上では重力に縛られることなく、自由に描いていい。常に想像力は柔軟でありたいと思っています。それまでと同じような絵を描くのは簡単だけど、やっぱり冒険しないと。自分がドキドキしないものに、人がドキドキするわけないでしょう？

ただ、独りよがりにはよくないから、客観性は意識しつつ、自分の奥底を



アイデアスケッチを何十枚と描いていく中で、徐々に全体の構図が固まってくる。



「自分がドキドキしないものに、人がドキドキするわけない」

深く探っていく感じ。自分の考えが描けているか、時代にシンクロしているか、新しさは出せたか……とか、最後まで考える。9割描いた後、残りの1割を仕上げるために、それまでと同じくらい時間をかけます。

——今、アトリエにある「海暮れゆけばただ仄かなる」は、高等学校の新版教科書『美術1』(P.29)に掲載させていただきました。この作品にこめた思いを聞かせてください。

遠藤 世の中の全てのものは、生まれては時間の経過とともに変化し続けていきます。一滴の雫^{しずく}のような命

が、重なり合って大きな波になり、また静まり返っていく。循環する生命の不思議を、水のもつ「美しさ」と「怖さ」の両面で表現したいと思いました。

完成に7か月要しましたが、制作中は「この絵はどうなっていくんだろう」という高揚感があるので、「大変」とか「辛い」という気持ちはなかったですね。壁にぶつかっても、思い詰めすぎず、手を動かすうちに突破口は開くもの。そういう創作の喜びを知っているから、あまり辛さを感じないのかもしれません。



えんどう・あきこ
1947年東京都生まれ。1969年、武蔵野美術短期大学美術科油絵専攻卒業。1986年第29回安井賞受賞。1996年武蔵野美術大学油絵学科助教授(1999～教授、2018～名誉教授)。2007年平成十八年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞(美術部門)。2014年、女性画家として初の紫綬褒章受章。30年以上にわたり、500～1500号の神秘的で迫力ある大作を生み出し続けている。

「海暮れゆけばただ仄かなる」の制作過程をご覧ください。



この動画は高等学校新版教科書『美術1』(P.29)に掲載されているQRコードからも視聴できます。



中学校 新版教科書

Q&A

【特集1】

いよいよ、生徒たちが新しい教科書を手にします。
 新版は、実際の授業を取材し、先生方と何度も打ち合わせを重ね、
 「授業でめいっぱい活用できる教科書」を目ざして編集しました。
 生徒たちにとっては、何を学ぶかがわかり、表現や鑑賞の意欲が高まる教科書。
 そして先生方にとっては、授業の進め方のヒントになる教科書です。
 本特集では、先生方からいただいたご質問に答える形で、
 光村の新しい『美術』の特徴や活用のしかたをご紹介します。

撮影 川原崎宣喜

Q1 新版教科書は、
学習指導要領に
どう対応していますか。

A1 「主体的・対話的で深い学び」の
実現のため、生徒が主体的に学習し、
対話が生まれるような工夫をしました。

新版教科書では、主体的・対話的で
深い学びの実現のために、さまざま
な工夫をしました。例えば、生徒が
主体的に学べるよう、学習の流れが
わかる紙面構成にしています(詳細は
P.6～7参照)。また、各題材の初め
には鑑賞を位置づけ、対話が深まる
問いを示しました。生徒が主体的に
学べるよう言葉を精選し、対話を通
して学習が深まるようにしています。



2・3年 P.64～65「季節感のある暮らしを楽しむ」

鑑賞 ここには四季の和菓子が並べられている。それぞれ、どの季節をあらわしているだろう。

「季節感のある暮らしを楽しむ」は、四季折々の動植物や天候などをもとに主題を生み出し、
 形や色を工夫してデザインする題材です。最初の鑑賞では、さまざまな季節の和菓子をランダムに配置し、
 生徒にどの季節をあらわしているか考えさせるような問いを示しました。
 形や色が多たらず効果を主体的に考え、また友達との対話を通して学びが深まるようにしています。

Q3 鑑賞題材について、 新しくなった点を教えてください。

A3 継続した鑑賞題材は、より学習の流れを意識した構成に。また、かき込んで鑑賞する題材や比べて鑑賞する題材などを設けました。



2・3年 P.48～55 「ゲルニカ、明日への願い」

●「ゲルニカ」などの 継続した鑑賞題材は、 さらにパワーアップ。

① 作品の大きさを感じ取る (P.48,53)

この作品の大きさを実感的に理解できるよう、写真作品「『ゲルニカ』を見る少年」を掲載しました。作品の大きさをつかんだうえで細部の鑑賞に入っていけるようにしています。

② 「ゲルニカ」をじっくり鑑賞する (P.49～52)

ページをめくると、「ゲルニカ」が掲載されています。このページには作品が描かれた背景などは掲載せず、生徒が先入観をもたずに鑑賞して自分なりの考えをもてるように工夫しました。

③ 作品の理解を深める (P.54～55)

次のページには、「ゲルニカ」が描かれた背景や、パブロ・ピカソの作家紹介が掲載されています。作品をじっくり鑑賞し、自分なりの考えをもったうえで知識に触れられる構成にしています。



●かき込んで鑑賞を深めるページを新設。



2・3年 P.10～13 「レオナルドとその時代」

「最後の晩餐」を鑑賞する題材では、トレーシングペーパーを綴じ込み、かき込みができるようにしました。一点透視図法などの作者の表現の工夫を、より実感的に理解でき、学びを深めていくことができます。



トレーシングペーパーに線を引いて消失点を探したり、描かれている人物の手や顔の表情を読み取って吹き出しをかいてせりふを考えたりできます。

●比べて鑑賞する題材を新設。

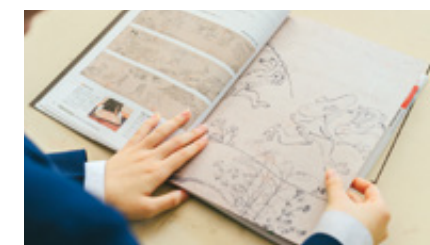


2・3年 P.37,38 「絵巻物と漫画の表現」



絵巻物と漫画を比べて鑑賞する

「鳥獣人物戯画」と漫画『火の鳥』を比較して鑑賞することで、絵巻物から現代の漫画に通じる表現を学ぶことができます。



POINT/「鳥獣人物戯画」は、越前和紙の風合いをもつ用紙に原寸大で印刷。まるで本物を見ているかのような感覚を味わえます。

比較鑑賞ができるその他の題材

【1年】

- ・P.18～19 「版であらわす美しさ」、P.20～21 「絵から物語をつむぐ」…P.19とP.20の二つの木版画を比べて鑑賞し、木版画のよさや美しさ、表現の多様さを感じ取る。
- ・P.30～37 「風神雷神——受け継がれる日本の美」…風神雷神を題材にした作品を比べて鑑賞し、それぞれのよさや違いを感じ取る。
- ・P.50～51 「形や材料を比べてみよう」…さまざまなカップを比べて鑑賞し、使う場面や目的によって材料や形などが工夫されていることを感じ取る。
- ・P.56～57 「世界の仮面と出会う」…世界各国の仮面を比べて鑑賞し、共通点や違いを感じ取る。

【2・3年】

- ・P.10～15 「レオナルドとその時代」…レオナルドの「最後の晩餐」と、他の画家の「最後の晩餐」を比べて鑑賞し、表現の工夫を感じ取る。
- ・P.24～31 「北斎からゴッホへ」…北斎とゴッホの作品を比べて鑑賞し、それぞれのよさと両者の関係性を感じ取る。
- ・P.68～69 「さまざまな椅子のデザイン」…さまざまな椅子を比べて鑑賞し、使う目的や場面によって材料や形などが工夫されていることを感じ取る。

Q4 随所にQRコードがありますが、 どのように活用すればよいでしょうか？

A4 動画や音声にリンクしていますので、
授業でご活用ください。

技法動画 全33本

色の重ね方が実感的に理解できる早回し動画や、用具の使い方や制作の
流れがわかる動画など、表現活動に役立つ映像資料を多数ご用意しています。



風景を描く際、色の重ね方がとても大事で
す。下描きから完成までの一連の流れを
紹介した早回し動画なら、手順がよくわか
ります。



1年 P.24 「心ひかれるこの風景」

音声ガイド 全5本

大きく掲載されている鑑賞図版については、音声ガイドを聞くことが
できます。鑑賞の授業の導入に使える1分程度の音声です。

「最後の晩餐」音声ガイドの原稿

「この中に裏切り者がいる。」
中央に座ったキリストが、弟子たちにそう告げた場面。
その言葉を聞き、弟子たちは動揺しています。
彼らの表情やポーズから、心の中をのぞいてみましょう。
右端の3人は……
(1分23秒の音声が入っています。)

音声ガイドを聞くことのできる作品

- ・「風神雷神図 屏風」1年P.31～34
- ・「最後の晩餐」2・3年P.13
- ・「雷獄三十六景 神奈川沖浪裏」2・3年P.25～26
- ・「星月夜」2・3年P.27～28
- ・「ゲルニカ」2・3年P.49～52



2・3年 P.14 「レオナルドとその時代」

360度動画 全21本

立体的な生徒作品につい
ては、さまざまな角度
から鑑賞できる動画を
ご用意しています。



好きな角度で止めて見ることで、さまざまな視点から作品を鑑賞でき、
作者の工夫点がよくわかります。

全国の生徒作品 約250点

全国の中学生の作品を、
作者の言葉とともに見
ることができます。



「自分を見つめてあらわす」「風景をあら
わす」などのカテゴリごとに、生徒作品を
掲載しています。

Q5 他教科との関連を どのように図っていますか？

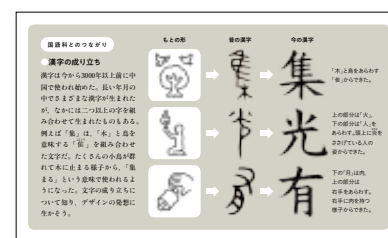
A5 美術での学びが他教科とどうつながるのか
実感をもって理解できるコーナーを設けました。

題材の随所に、他教科とのつながりを示すコラムを設け、
美術での学びが他教科とどうつながるのか、実感をもって理解できるようにしました。



1年 P.43 数学科とのつながり「エッシャーの敷き詰め模様」

「生活をいどる文様」という文様をデザインする題材では、1年の数学科で学習する
「平面図形」と関連させて、エッシャーの敷き詰め模様を紹介しました。



1年 P.45 国語科とのつながり

「漢字の成り立ち」

「文字で楽しく伝える」という
文字をデザインする題材では、
漢字の成り立ちを紹介し、デザ
インの発想に生かせるように
しました。

「他教科とのつながり」コラム一覧

- 国語科とのつながり ▶ 「古典文学と屏風絵」(1年 P.37)
- 「漢字の成り立ち」(1年 P.45) 「美術鑑賞を広げる言葉」(1年 P.80)
- 「コピエを考える」(2・3年 P.59)
- 社会科とのつながり ▶ 「火焰型土器 装飾に込めた願い」(1年 P.53)
- 数学科とのつながり ▶ 「エッシャーの敷き詰め模様」(1年 P.43)
- 理科とのつながり ▶ 「自然が教えてくれるもの」(1年 P.74)
- 家庭科とのつながり ▶ 「生活を豊かにする食の文化」(1年 P.55)

POINT / 原稿は生物学者・福岡伸一さんが執筆。
エッシャーの大ファンという福岡さんに、エッシャーがなぜ敷き詰め模様に
興味をもったのか、どのように模様をつくったのかなどをお書きいただきました。

道徳科とのつながり

生徒が道徳との関連を意識して学べるよう、
関連する題材では、ページ下部に道徳科の内容項目を示しました。

道徳科とのつながり 公正、公平、社会正義／社会参画、公共の精神



2・3年 P.56 「メッセージを伝える」

その他のさまざまな工夫や、指導に役立つ資料を
ウェブサイトでもご紹介しています。ぜひご覧ください。
URL : https://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c_bijutsu/index.html



【特集2】

令和4年度版 高等学校『美術1』の ご案内



光村の高等学校『美術1』の教科書が生まれ変わりました。
目ざしたのは、高校生がもっと「つくってみたい!」「見てみたい!」と思える教科書。
本特集では、編集に携わった先生方に、
新版教科書の魅力をご紹介します。

／編集委員が語る／
新版教科書 **ここ**がおすすめ!



み さわ あつ ひこ
三沢厚彦 (彫刻家)

表現のヒントになる「作家の手法」

「作家の手法」というページをぜひご覧ください。さまざまな作家が作品をどう発想し、どのように制作しているのかが詳しく紹介されているので、高校生が作品を考える際に参考になるのではないのでしょうか。私は、このページのために新作に取り組みました。

P.14



やす むら とし のぶ
安村敏信 (美術史家・北斎館館長)

本物に近い風合いを味わえる鑑賞題材

新版教科書では、鑑賞題材の見せ方に工夫を凝らしています。例えば、日本美術の作品は、和紙風の用紙に印刷されており、本物に近い風合いを味わうことができます。

P.15



かわ かみ の り こ
川上典李子

(デザイナー・21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター)

充実したデザイン題材

特に「比べて鑑賞する スプーンのデザイン」がおすすめです。先の曲線や角度、柄の長さ、材料もさまざま。形や色の異なるたくさんのスプーンを比較鑑賞することで、使う場面や目的によるデザインの工夫を理解できるでしょう。

P.16



な とり かず ゆき
名取和幸

(色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所常務理事)

色の世界が広がる「混色のヒント&色彩図鑑」

色の資料がさらにパワーアップしました。巻末には、「混色のヒント」と「色彩図鑑」と題した、切り離し式の資料がついています。表現や鑑賞の際に手軽に参照でき、色の世界が広がっていくでしょう。

P.17

表現のヒントになる「作家の手法」

高校生の発想・構想のヒントとなるよう、「作家の手法」というページを設けました。

画家、彫刻家、デザイナーなど第一線で活躍している作家が、
作品をどう発想し制作しているのかを詳しく紹介しています。



み さ わ あ つ ひ こ
三沢厚彦
彫刻家

おすすめポイント

このページの作品「Animal-2020-01」は、新版教科書のために手がけた新作です。
編集部が何度もアトリエに来て、作品ができるまでの過程をしっかりと取材してくれました。
制作過程はもちろん、アイデアスケッチや、私が普段どのようなことを考えながら
作品をつくっているのかも詳しく紹介されています。
高校生が作品をつくるときのヒントにしてもらえたら嬉しく思います。

P.40～41「生命感をあわす 作家の手法 三沢厚彦」



POINT アイデアスケッチや、作家の言葉を掲載

作家が作品をどのように
発想しているのかがわかります。

POINT 制作過程を詳しく

制作の過程を編集部が密着取材し、詳しく紹介しています。

★「作家の手法」紹介作家一覧

あさ い ゆう ずけ
浅井裕介(画家) P.4～5
なかじま ち なみ
中島千波(日本画家) **新作** P.8～9
つ ぐみ
津上みゆき(画家) P.24～25
えん どう あき こ
遠藤彰子(画家) P.28～29
よこ お だ のり
横尾忠則(美術家) P.35

み さ わ あ つ ひ こ
三沢厚彦(彫刻家) **新作** P.40～41
さ とう たく
佐藤 卓(グラフィックデザイナー) P.50～51
ひろ むら まさ あき
廣村正彰(グラフィックデザイナー) P.53
みな がわ あきら
皆川 明(デザイナー) P.57
い どう ゆう いち
伊藤有壹(アニメーション作家) P.76

本物に近い風合いを味わえる鑑賞題材

「雲龍図」,「鳥獣人物戯画 甲巻」,
「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」は、和紙風の用紙に印刷しました。
色合いや質感を、より本物に近い風合いで鑑賞することができます。

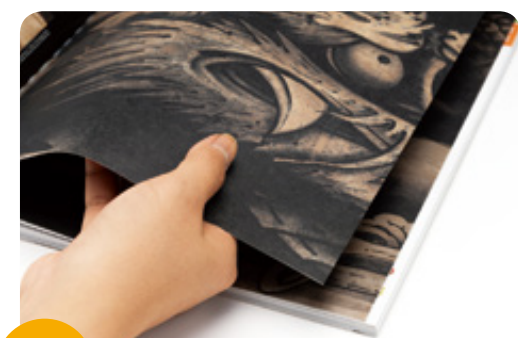
おすすめポイント

日本美術の多くは、当時使われていた和紙に描かれていますので、
和紙のような風合いの用紙に印刷することで、ぐっと本物に近い感覚で
鑑賞することができます。例えば、曾我 蕭 白の傑作「雲龍図」。
墨一色で大胆に描かれたこの作品の、深みのある墨の色やにじみのおもしろさを、
高校生にじっくりと味わってほしいなと思います。



やす むら とし のぶ
安村敏信
美術史家・
北斎館館長

P.12～14「墨で描く」



POINT

和紙のような質感

実際に手で触ると、質感の違いがよくわかります。



P.15～18「絵巻物を楽しむ」

POINT

「鳥獣人物戯画 甲巻」を 全て掲載

「鳥獣人物戯画」の中でも特に人気のある甲巻を、
初めから終わりまで全て掲載しました。
動物たちの生き生きとした表情や
軽やかな筆づかいなどを、臨場感をもって鑑賞できます。

鑑賞を深められるよう、適宜吹き出しで解説を入れています。



充実したデザイン題材

生徒が取り組みやすいよう、デザイン題材を刷新しました。

「比べて鑑賞する スプーン的设计」という、
デザインの鑑賞題材も設けています。



かわかみ のりこ
川上典李子
デザイナーナリスト・
21_21 DESIGN SIGHT
アソシエイトディレクター

おすすめポイント /

高校生に身近なデザインにも目を向けてほしいと思い、スプーンを比較鑑賞するページを設けました。幼児でも持ちやすいスプーン、カレーを味わうためのスプーン、アイスクリーム用のスプーンなど、たくさんのスプーンを掲載しています。使う場面や目的によって材料や形にさまざまな工夫が凝らされていることを、この題材から実感的に理解できるのではないのでしょうか。



P.60～61「比べて鑑賞する スプーン的设计」

POINT

22点のスプーンを掲載

それぞれを比較することで、
使う場面や目的によってデザインが
工夫されていることがわかります。

デザイン題材は、ポスター、ロ
ゴマーク、パッケージのデザ
インなど、授業で取り組みや
すいものを精選しました。掲
載している作例は、語り継が
れる名作から、最新のデザ
インまで幅広く扱っています。

右:「ヒロシマ・アピールズ
『ヒロシマという重石』」
左:アイデアスケッチ



色の世界が広がる「混色のヒント&色彩図鑑」

新版教科書では、「色の性質」「色の効果」「配色のヒント」など、

色に関する資料を豊富に掲載しています。

さらに、巻末には切り離し式の資料もご用意しました。

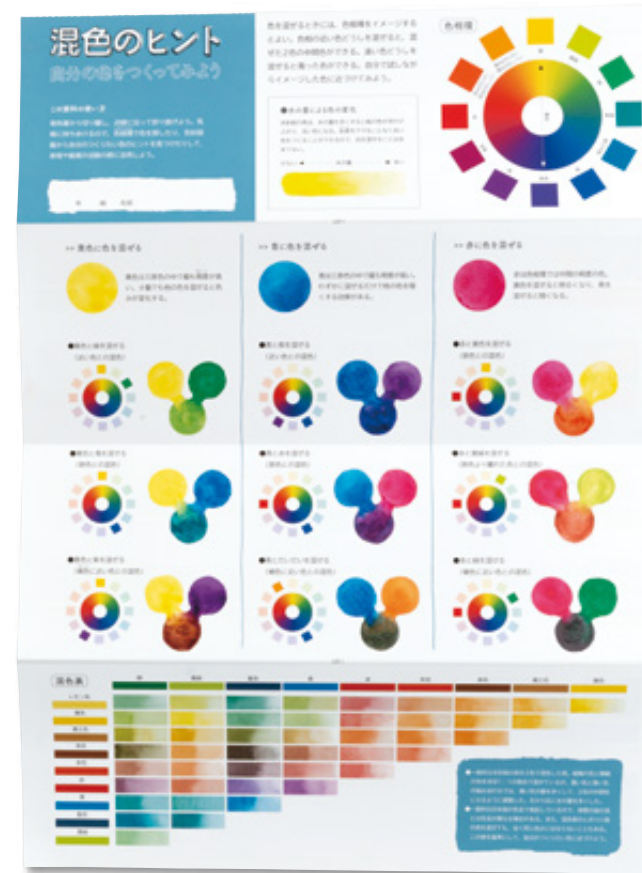


なとり かずゆき
名取和幸
色彩学研究者・
一般財団法人
日本色彩研究所
常務理事

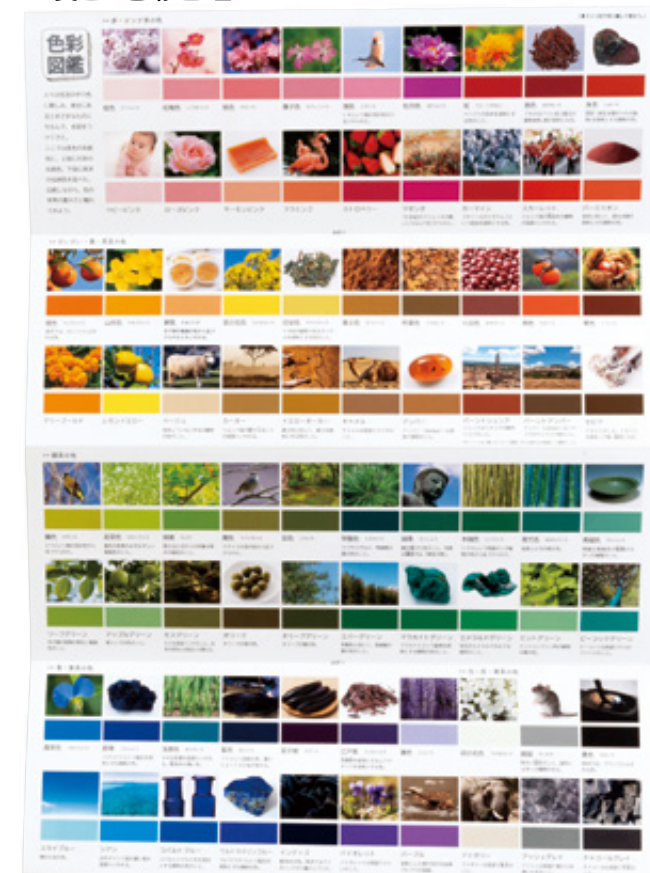
おすすめポイント /

巻末の切り離し式「混色のヒント&色彩図鑑」がおすすめです。
表面の「混色のヒント」は、色相環を意識してどのような色になるかを考えるための
ヒントを示しています。裏面の「色彩図鑑」では、日本と西洋の代表的な伝統色を
紹介しています。この資料は切り離して気軽に持ち運べるので、絵を描くときや
作品を鑑賞するときなど、さまざまな場面で活用してほしいですね。

●表面：混色のヒント



●裏面：色彩図鑑



表現活動の際に手元
に置いて、混色して色
をつくる時の目安に
することができます。



POINT

持ち運びやすい

折りたたむとコンパクトになり、
絵の具セットに入れておけるサイズに。
いつでもどこでも気軽に参照できます。



「日本の伝統色」
「西洋の伝統色」
を対比して掲載。
色を選ぶときのヒ
ントになるほか、色
名の由来も知るこ
とができます。



スカレット
ベルシア語の薬めの植物
が語源といわれる。

作家の肖像

第 18 回

このコーナーでは、
毎回一人の作家を取り上げ、
美術評論家の酒井忠康先生に、
お話をうかがいます。



1936-2003
若林 奮

わかばやし・いさむ
1936年東京都生まれ。彫刻家。東京藝術大学美術学部彫刻学科卒業。73年、文化庁芸術家在外研修員として約1年間渡欧。80年、86年のベネチア・ビエンナーレに出品。96年中原悌二郎賞受賞。武蔵野美術大学教授、多摩美術大学教授を歴任。主に鉄や銅、鉛などの金属素材を使い、深い自然観に基づく思索的な作品を制作した。67歳で死去。

思慮深い観察者

猛烈な雨が降ると、雨粒は下から上に上がっていくんだ――。

かつて若林さんが私に話してくれた、印象的な言葉です。あらゆる対象を注意深く見つめ、究極まで突き詰めていく若林さんの目には、大雨がそのように映ったのでしょうか。

若林さんは、思慮深い観察者でした。動植物をはじめ、さまざまな物質や空間、自然現象など、あらゆる対象を絶えず観察し、それらに対する深い省察や思索を、彫刻という形で提示しました。

若かった頃、若林さんのアトリエを訪ねる機会が何度ありました。ある日私が伺うと、アトリエの天井に振り子のようなものが吊るされていました。それは、丸めた新聞紙に、糸を取り付けたもの。若林さんは、その振り子に犬が飛びつく様子を、一日中眺めていました。動物が「跳ぶ」という動作の構造を、ずっと観察していたのでしょうかね。

人と自然の関係を問う

ヘンリー・デイヴィッド・ソロー（※1）は、森の中で自給自足の生活を送り、五感すべてを使って野生を知り尽くそうとした人物です。私は最近、若林さんも、ソローと似た感性を持っていたのではないかと思います。

若林さんは、自然に対する強い畏敬の念をもっていました。「自分が自然の一部であることを確実に知りたい」という言葉からも、人と自然の関係に対する強い関心があったことが窺えます。

「雰囲気」は、犬と人の関係を表現した作品です。両者の関わり方と

いうのは実に多様で、犬と人の視点で見える景色は異なる。両者の中間にある空間こそ、若林さんが彫刻で表現したかった部分です。

本来、人も自然界の一部であるはずなのに、文明の進歩とともに、いつからか分岐してしまった。だからこそ、若林さんは自分の方から自然に歩み寄ろうとしたのではないのでしょうか。若林さんにとって、犬は自然界を代表する一つの象徴。犬の視点に立って、犬になったふりをする事で、自然と人との距離感を確かめようとしたのでしょうか。

想像を遊ばせる作品

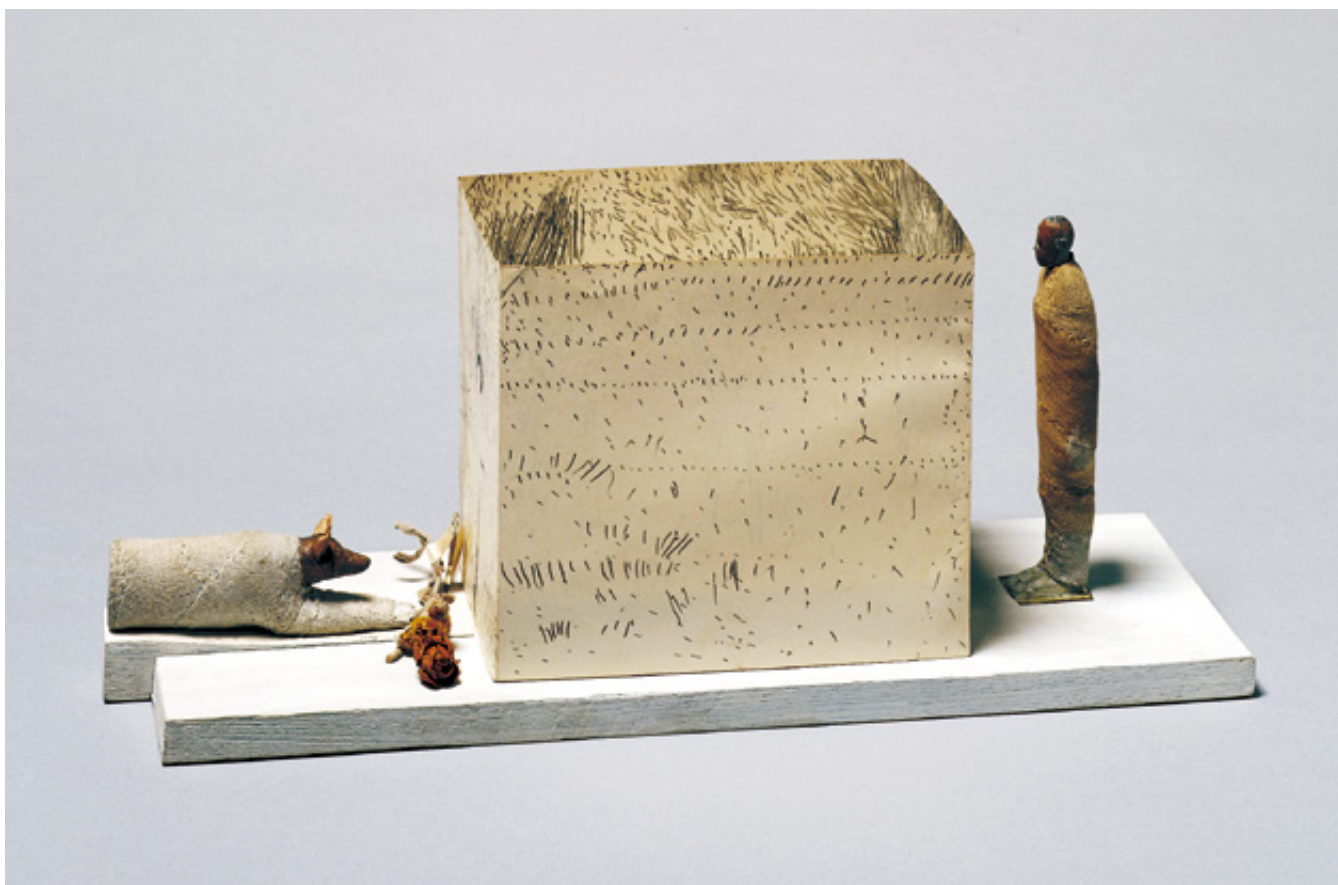
主に鉄を素材とする若林さんの作品は、非情緒的で、丁寧に説明はしてくれません。でも、若林さんの膨大な思索に触れるための「補助線」は引かれています。鑑賞者は、その補助線を頼りに、いろいろな想像を巡らせるよう誘われるのです。

作品は難解に見えるかもしれませんが、会って話すと、非常に楽しい方でした。若林さんは生前、二人の娘さんのために、木製の玩具を作っていました。父として、プライベートで制作したのですが、それらもやはり、楽しい想像を掻き立てる作品なのです。（談）

※1 ヘンリー・デイヴィッド・ソロー（1817-1862）
アメリカの詩人、作家、思想家。
ナチュラリストの先駆者として知られ、
人間と自然の関係をテーマにした著書を残した。

酒井 忠康

さかい・ただやす
世田谷美術館館長、美術評論家。
1941年北海道生まれ。慶應義塾大学卒業。
神奈川県立近代美術館館長を経て現職。
光村図書中学校『美術』代表著者。



上／「雰囲気」

紙、木、インク、ジェッソ、布、バラ、ハハコグサ
16.6×41.6×14.7cm 1980～2000 WAKABAYASHI STUDIO蔵
両端に犬と自分が置かれている。その両者の中間にある直方体の空間が、自然と人間の関係をあらわしているとされる。

（撮影：山本 糾 画像提供：神奈川県立近代美術館）



左下／「オズ・4人」

鉄、ハンダ、ボルト、木、グワッシュ、ジェッソ
高さ約30～40cm 1990年ほか WAKABAYASHI STUDIO蔵
童話「オズの魔法使い」を題材にした立体の玩具。
二人の娘のために、プライベートで制作した。

（撮影：上野則宏 画像提供：（株）キュレイターズ）



右下／「残り元素I」

鉄 87（台座：58）×36×86cm 1965年
神奈川県立近代美術館蔵
1965年の二科展に出品された初期の代表作の一つ。
鉄を素材とする彫刻作品を多く残したが、
鉄の扱い方は時代とともに変化していった。



第 18 回

鳥獣人物戯画 甲巻

(部分)

紙本墨画 31.1×1156.6cm 12世紀後半
高山寺蔵(京都府) 東京国立博物館寄託
※中学校教科書『美術2・3』P.36～37,
高等学校新版教科書『美術1』P.15～18に掲載

1000年の笑い

おなじみ鳥獣人物戯画！

カエルやウサギが相撲をとったり、面白おかしく描かれた超有名な絵巻物。これは日本のマンガの先祖だなんて言われてるんだけど、ボクが鳥獣人物戯画から引き継ぎたいのは、絵柄や技法ではなくて「笑うキモチ」。鳥獣人物戯画を見ていると、立派なものや美しいものだけでなく、面白いものや皆で楽しめるものも、ちゃんと時代を超えて残っていくんだなと思える。

作者は不確かだけど、鳥羽僧正とばそうじょう覚猷かくゆうという説がある(※1)。天台宗の座主まで上り詰めた偉い人だけど、一方で相当ユーモラスな面もあったらしい。なんと「放屁合戦」なんて作品も遺しているほどだ。オナラだぞ。今じゃ子供が描いても叱られる、かも(笑)。

遺言も有名で「遺産の分け方は腕力で決める」などと言い遺したらしい。これは強い者が勝ちというその時代の風潮を皮肉りたかったんじゃないかと言われている。この遺言のように、鳥羽僧正が目指した笑いは

ただバカバカしいだけでなく、風刺的だったんだろうな。

風刺は、その時代時代の社会や政治を笑いでくるんで、やんわり批判する。西洋で風刺画が流行ったのは19世紀だった。政治に参加することになった市民に社会や政治の構図を分かりやすく説明するために、あるいは権力者をこきおろすことで市民たちが溜飲を下げるような役割を果たしていた。

鳥獣人物戯画が描かれたころはどうだったんだろう？

1000年前は平安時代末期。地方で

は武士が力を伸ばし、中央では院政が始まり、権力が不安定になっていた時代だ。きっとどこかのお寺かお屋敷に仲間が集まり、鳥獣人物戯画を見ては「このサル、全くあのお方のおりですな(笑)」「いやいやカエルにはなりたくないものよ」などと、時の権力者や風潮を笑っていたに違いない。

市民が皆で楽しむような風刺ではなく、仲間内でこっそり楽しむものだったのだろうか？ もしかして見つかるはずのものだったとか？

「これヤバイやつなんだけど」とか

言ってこっそり回し読みされてたのかも？ サルが誰だったの？ カエルが何なの？ 想像は膨らむ！ 1000年前の笑いを1000年前のように楽しみたい。

一方未来はどうなんだろう？

時代が変わっても風刺は生きている気がするぞ。なんて鳥獣人物戯画を見ながら、1000年後の笑いに想いを馳せるのだった。

※1
鳥獣人物戯画の作者については、鳥羽僧正覚猷が描いたとする説以外にも、近年では寺院に属する絵仏師だったとする説や、宮廷絵所の絵師だったとする説などがある。

しりあがり寿
しりあがりことぶき

漫画家。1958年静岡県生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業後、ビール会社勤務を経て、1985年『エレキな春』でデビュー。2001年『弥次喜多 in DEEP』(エンターブレイン)で手塚治虫文化賞優秀賞受賞。2002年から朝日新聞・夕刊で『地球防衛家のヒトビト』を連載。ギャグから社会派まで幅広いジャンルの漫画作品を手がける。2014年、紫綬褒章受章。